

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成20年10月28日

【評価実施概要】

事業所番号	2872001595		
法人名	社会福祉法人 姫路文化福祉会		
事業所名	グループホーム プーフーウー		
所在地	兵庫県明石市二見町西二見1606 (電話) 078-945-0711		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成20年9月26日	評価確定日	平成20年10月28日

【情報提供票より】(平成20年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年10月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 11人, 非常勤 10人, 常勤換算 13.1人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3 階建ての	1 ~ 2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 ~ 54,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	7	要介護2	6
要介護3	4	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84.5 歳	最低 72 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	川畑歯科医院、清水クリニック、明石回生病院
---------	-----------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは明石市の西端で、播磨町と隣接した商業道路に面し、山陽電車の西二見の駅から徒歩5分と交通の便もよく、同じ敷地内にはデイサービス併設の特別養護老人ホームもある。ホームの建物は外観が3匹のこぶた風のレンガ造りの3階建てで、1・2階がグループホームとなっている。今年の2月には60人定員の保育園も隣に併設され、3階から行き来ができる。ホームは開設から4年が経過し、入居者と職員との関係も、めだかやザリガニを一緒に捕りに行ったりと家庭的である。地域との交流は、ホームが住宅地から離れているため、これまではかかわりが少なかったが、保育園の開設により、園児の家族や地域の人とのかかわりが増えつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 外部評価から、日々の業務でも地域の人とのなげない挨拶や会話も意識して行い、入居者へも声をかけてもらえるようになった。鍵をかけないケアの実践は、畑に通じる勝手口の開放はできたが今後も課題であり、運営推進会議の開催とともに早急に取り組まれる事を期待する。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 入居者の生活改善や、事業所の地域との交流については、自己評価を行うことにより改めて見直しできた。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 前年度の評価時から今回の評価までの間にも会議の開催はない。しかし、運営方針で目指す、人としての当たり前の生活を、グループホームの入居者へのサービスとして提供するからには、早急な会議の開催により入居者、家族、地域、関係機関等からの評価や助言を受け、会議の積み重ねによる事業所運営のさらなる向上を期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 面会時等以外では家族との会話や具体的な家族の発言の機会は少ないが、ホーム便りや手紙の中で、意見や要望についても聞き取りできる体制であることは案内している。最近では面会時に職員が家族から簡単な要望を聞く事も増えてきている。事業所からの働きかけのある家族会結成等も期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 今年2月にホームの隣に60人定員の保育園を開設し、地域の子どもたちを受け入れ、行事等では子どもたちやその保護者、家族との交流の機会も多くなった。今後も機会を増やしグループホームとしての交流も工夫してほしい。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「高齢になっても障害が出ても命ある限り、自分の意思に基づいて、当たり前生活を」を理念とし、「家庭的な生活への支援、楽しい環境作りへの取り組み、快適で穏やかな暮らしづくりを支援、ご家族に安心と休息を提供」を運営方針として事業所内に掲示している。		地域への密着については、年々改善しつつあるも多機能総合施設として、長期的な取り組みの中で、一つひとつの確実な改善を期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が主導的な場面も感じられるが、職員は「楽しく・穏やかに」の理念の基に、運営方針の実践を心がけ、「(入居者の)笑顔が領収書」という思いで日々業務に取り組んでいる。外出時等、地域の人へも笑顔で接するよう心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設当初から、地域の自治会長等に法人の運営会議に参加してもらい、情報提供や協力は求めてきたが、法人の施設全体が住宅地等から離れている事もあり、地域との交流は継続的な課題となっている。自治会へは入会手続きができた。		今年2月、ホームの隣に60人定員の保育園を開設し、地域の子どもたちを受け入れ、行事等では子どもたちやその保護者、家族との交流の機会も多くなった。今後も機会を増やし、グループホームとしての交流も工夫してほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	入居者の生活改善や事業所の地域との交流については、自己評価を行うことにより改めて見直しができた。また、外部評価から、日々の業務でも地域の人とのなげない挨拶や会話を意識して行い、入居者へも声をかけてもらえるようになった。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在ホーム内の入居者が職員の介護により安心できる生活を送っていることを評価したり、よりよい生活の提供を支援するためにも、入居者、入居者家族、地域代表、市職員等の参加もある会議の開催を期待したい。</p>		<p>今回の評価までの間に開催はないが、入居者へのより良い生活支援を行うためにも、サービスの質の向上が必要です。早急な会議の開催と、定期的な開催の定着を期待したい。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所からの相談は行いうが、市からのグループホームへの積極的な働きかけはない。</p>		<p>市は、事業所が保育園との共存しているグループホームとして紹介はしているものの、積極的なかかわりはない。今後は事業所がグループホームの機能を地域に還元し、地域への働きかけから市との連携ができる事を期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族へは月々の会計報告とともに、入居者の生活状況を記入した手紙を送付している。また、ホーム便りでは行事や暮らしぶりを写真で紹介し、離れた家族にも喜んでもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時等以外では具体的な発言の機会は少ないが、ホーム便りや手紙の中で、意見や要望についても聞き取りできることを案内している。面会時には職員が簡単な要望を聞く事が増えてきている。</p>		<p>家族会等、運営に関する家族等の意見が聞ける機会が現在ではない。入居者の生活の充実のためにも、より積極的に家族の意見を聞ける体制作りを期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所の方針として、各ユニットで職員を固定し、馴染みの関係ができていた為、職員の異動による影響はない。今後も影響しないように事業所として配慮する。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の研修参加への希望も多く、事業所内外での研修にも、できるだけ多くの職員が積極的に参加できるように配慮はしている。</p>		<p>より多くの研修参加は事業所負担も大きくなるが、入居者へのより質の高いサービスの提供のためにも事業所としての援助を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ホームは明石市にあるが、市内の同業者との交流はない。明石市以外の近隣の二市二町のグループホーム協会に加入し、交流を計画している。また、地域外の先進的な事業所との交流も行っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前、一緒に暮らした犬の対応に不安を感じていた入居者に、事業所は家族にえさ代、予防注射を含め管理責任を継続してもらうことを調整し、一緒に入居できるようにした。動物との入居はすべての入居者に対応できることではないものの、その都度工夫できる体制がとられている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>1階・2階にそれぞれ1匹の犬がいて、飼い主がいても、入居者全員で共有できている。また、職員は入居者の目線で考え、動き、その場に合った対応ができている。入居者とともに過ごし、学んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>昼食時等、和んだ雰囲気の中で入居者と職員の話が広がり、昔話やその人の知識等を通じて意向の把握も行っていった。聞くだけの人にも話題を振り、表情などの反応による対応もできていた。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>地域でその人らしく暮らせる介護計画までには至ってないが、職員は日々のかかわりの中で、入居者、家族の思いや意向を聞き取り、ホームでのその人らしく暮らせる介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月を目処に介護計画の見直しを行い、作成時は職員が計画に基づいた業務の観点からの本人、家族との関わりで気付いた事などの意見を出して見直しを行っている。また、期間に関係のない見直しも随時行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>今年2月にホームの隣に60人の保育園を開設し、建物自体も3階で繋がっている。行事はもとより、普段でも園児との交流ができ、その上に特養ホーム、デイサービスの行事でも交流を行っている。緊急時等でも特養の看護師の応援がある。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人、家族の意向を確認し、同意の下にグループホームの協力医療機関に変更したりする場合もあるが、事業所としては柔軟な対応を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホーム入居時等に、併設の特別養護老人ホームの入所申請も同時に行い、重度化や終末期でも連携して対応できる。過去には本人、家族が望み、事業所で終末対応もした。しかし、現在のところ事業所としての取り決めはない。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>見学者が多い事業所ではあるが、職員配慮の下で、入居者のプライバシーの確保を行っている。また、日常介護では入居者の行為についても、本人を傷つけない対応や周りの人への配慮もできている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者と職員との和やかなかかわりの中で、その人の特性を活かしながら声かけを行ったり、高齢者としてのペースにも合わせた対応を行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者は食事を楽しみにしている為、各入居者の好みを把握し、それぞれに配慮している。献立はその日の係りの職員が入居者に聞いて決め、買い物も入居者で行っている。食事の時は入居者それぞれが役割を担当し、参加している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	各入居者が入浴を楽しめるように職員は援助しているが、入浴拒否がある入居者へは、犬の散歩等で汗をかいてもらい、その後に入浴をしてもらうなど工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	今年は、隣接の保育園児との交流の機会が増え、入居者も張り合いや喜びが増えた。また、ホーム内に畑を2カ所作り、土運びは男性が行い、農作業は入居者からの知識を伝授してもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や随時の外出対応を行っている。併設施設のバスで外出したり、外食も行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、建物が回廊式で入居者・職員が集まる食堂兼居間からは死角のため、暗証番号での施錠となっている。これまでの外部評価から、日中の開放も試みたが、トラブルも生じ、現在は再び施錠している。勝手口は開錠している。		管理者、職員の話し合いや研修を行い、単独事業所だけの検討でなく、総合施設として、また、家族の理解や協力も一つの方法として、日中の時間的な開放の取り組みを実施される事を期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の対応マニュアルもあり、事業所独自の消防署との訓練は年2回実施している。また、併設保育園からは直接警察にも通報できる設備も設置されていて協力体制にある。地域への協力呼びかけも行いつつある。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの食事摂取量を毎食確認し、食事摂取状況の把握を行い、体調管理に活かしている。水分も食事ごとに声かけし、不足にならないように職員全員で気をつけている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>外部評価を活かして、共用空間の様態替えも定期的実施し、入居者の居心地のよい場所になるよう取り組んでいる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の使い慣れたものや好みのものの持ち込みは自由に行っているが、持ち込みが少ないため、入居者、職員が協力して、めだかやザリガニを近くに捕りに行き、居室内で飼ったりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。